

- 3月の米製造業景気指数や中国の製造業購買担当者景気指数が市場予想を上回ったことを好感し、1日の各国株式市場は大幅に上昇。ただし、一部の項目や指数などでは依然低下傾向がみられる。
- 2日にIMFのラガルド専務理事は、世界経済の勢いは一段と失われているとの見方を示す。各国の製造業景気指数が回復基調をたどるかは、今後の動向を注視する必要があると考えられる。

3月の米製造業景気指数は小幅に持ち直し

各国の景気指数の動向が市場で注目を集めています。

1日に発表された3月の米供給管理協会（ISM）製造業景気指数は55.3と、市場予想の54.5（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を上回り、2016年11月以来2年3ヵ月ぶりの低水準を記録した前月から上昇しました。内訳をみると、生産指数や新規受注指数、雇用指数が上昇していることから、今回の結果は昨年12月以降にみられた景況感の不安定な動きがいったん落ち着いていることを示す内容といえます。

一方、その他の項目では、輸出受注や輸入指数は引き続き相対的に低水準にとどまっており、米中貿易摩擦などが景況感の足を引っ張るかたちとなっています。

IMFは世界経済に慎重な見方も

中国では、3月31日に発表された3月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は50.5と、市場予想の49.6を上回りました。前月からの上昇幅は7年ぶりの大きさであり、中国政府による景気対策の効果の可能性も考えられます。ただし、同指数は例年、旧正月をはさんで2月に低下した後、3月には比較的大幅に上昇する傾向がみられる点には留意が必要です。

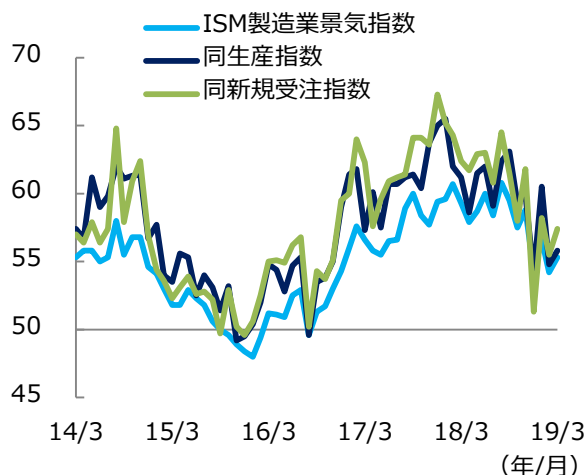
ドイツでは、3月25日にIfo経済研究所が発表した3月の景況感指数が、7ヵ月ぶりに上昇に転じたことが市場の一部で注目されました。しかし、同指数のうち製造業景況感については2016年2月以来の水準へ落ち込み、依然低下傾向が続いています。

米中両国の製造業景気指数が市場予想を上回ったことを好感し、1日の各国株式市場は大幅に上昇しました。その後、2日に国際通貨基金（IMF）のラガルド専務理事は、年初来世界経済の勢いは一段と失われているとの見方を示しており、各国の製造業景気指数が回復基調をたどるかは引き続き、今後の動向を注視する必要があると考えられます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

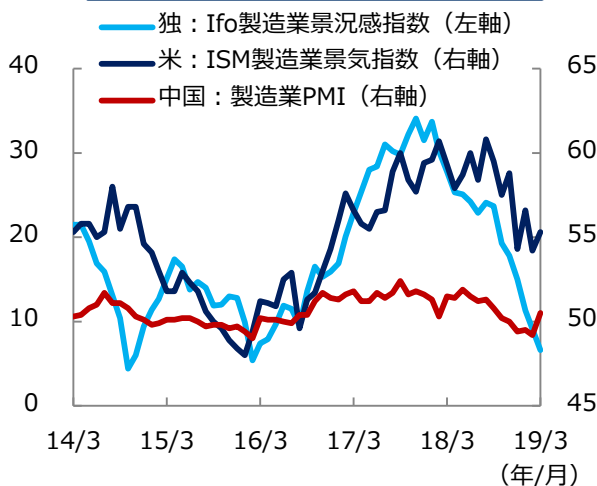
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

ISM製造業景気指数の推移



※期間：2014年3月～2019年3月（月次）

各国の製造業景気指数の推移



※期間：2014年3月～2019年3月（月次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合があるため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ISM製造業景気指数は全米供給管理協会が発表する指数です。